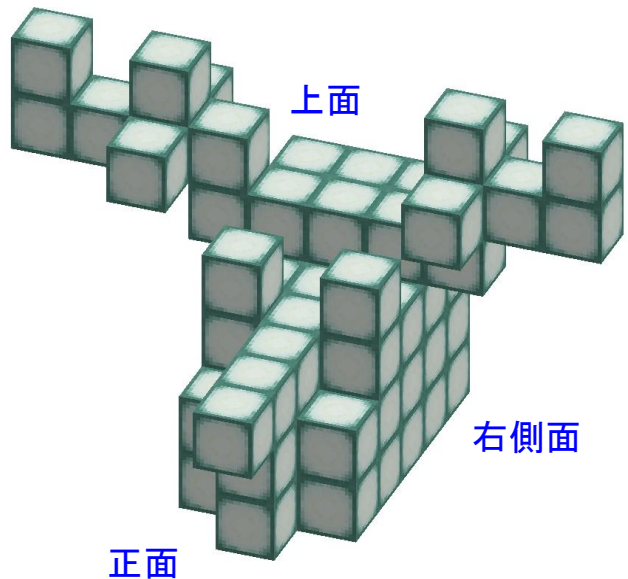


なまえ	
-----	--

上面図



作図例

上面図

上面

正面 右側面

マス目の模様もようをかかない。

正面図

右側面図

見えない線(隠線)は点線で

正面図

右側面図

加点	□ 位置	□ 外形	□ 実線	□ 隠線	□ 精度
評点	/ 5 点				
日付	/		/		
採点者	済印			記録 発行	

No.	問 題	学 年	解 答	採点	先生コメント
1	<p>後輪のステアリング機構に輪ゴムをかけている目的として、最も適切な記述を1つ選び、記号で答えよ。</p> <p>A. プログラム用ロッドの幅を読み取るため B. プログラム用ロッドを押さえ付けるため C. プログラム用ロッドを挿入しない時に右に曲がらせるため D. ステアリング機構が外れないよう強化するため</p>	小3～ めやす		/1	
2	<p>モーター動力を、走行用タイヤLと、ロッド送り用タイヤSに分配している。このタイヤLとSの回転数と向きについて、正しい記述を記号で答えよ。</p> <p>A. タイヤLとSは同じ回転数で、同じ向きに回る B. タイヤLとSは同じ回転数で、逆向きに回る C. タイヤLはSの3倍の回転数で、同じ向きに回る D. タイヤLはSの3倍の回転数で、逆向きに回る E. タイヤSはLの3倍の回転数で、同じ向きに回る F. タイヤSはLの3倍の回転数で、逆向きに回る</p>	小3～ めやす		/1	
3	<p>プログラム用ロッドを15cm送る間に、ロボットが何cm進むか。計算過程を説明し、答えよ。</p> <p>ただし、ロッド送り用タイヤS直径を39mm、走行用タイヤL直径を52mm、ロッドはタイヤSの周回分だけ送られるものとする。</p> <p>タイヤS外周を120mm、タイヤL外周を160mmとして計算してもよい。</p>	小4～ めやす		/3	
				採点者	計 済印 日付 記録 発行
				/5	/ /